

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和7年度の計画 (R7.5.28 報告内容)	調査 研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績（令和7年度）	進捗 状況	今後の方針	
生活排水対策の推進	水環境に配慮した生活行動の推進	・家庭からの汚濁物質の低減に努めるため、水環境保全に配慮した生活習慣の呼びかけ		市町村 諏訪地域振興局環境課		(諏訪市)家庭からの油流出阻止について市報による啓発	B	今後も継続して実施する。	
	下水道供用区域における下水道への接続の促進	・遅滞なく下水道に接続するよう、地域住民への啓発・指導の実施		市町村 諏訪湖流域下水道事務所		(岡谷市) 未接続家屋に対して戸別訪問を行い、下水道接続の状況確認を行うとともに早期接続を依頼する。 (下諏訪町) ・「下水道の日」にあわせた啓発広告の掲載 流域下水道) ・「下水道の日」にあわせた啓発広告の掲載(3紙) ・「クリーンレイク諏訪下水道ふれあいまつりの開催」(9月27日)	B	引き続き計画的に実施していく。	
						・「下水道の日」にあわせた啓発広告の掲載(3紙)	A	継続的に実施	
						・「クリーンレイク諏訪下水道ふれあいまつりの開催」(9月27日)	A	2項目とも次年度も引き続き実施予定	
	浄化槽の適正な設置及び管理の確保	・浄化槽法及び建築基準法に基づく適正な設置を促す  ・浄化槽法に基づく適正な管理を促すため、諏訪浄化槽衛生管理組合を通じて、施工者、管理者等への指導・啓発の実施  ・浄化槽の保守点検、法定検査受検促進のための立入検査		市町村 諏訪建設事務所建築課 諏訪地域振興局環境課		・浄化槽設計概要書 53 件受理(R7.3.2 時点) ・浄化槽設置届 88 件受理(R8.2.13 時点)	A	引き続き、適正設置を促す。	
						・令和7年9、10月に諏訪浄化槽衛生管理組合、県、各市町村合同で管内6市町村の浄化槽を立入実施した。 ・令和7年5月20日の設置者研修会及び会報の配布により、啓発活動を実施した。	A	引き続き指導・啓発を実施する。	
・(県)120件立入を実施した。(R7.3.12 時点)						A	引き続き立入検査を実施する。		
廃棄物処理施設による処理	・ごみの不法投棄や不適正処理による水質汚濁防止のための一般廃棄物の適正処理の推進  ・一般廃棄物の排出抑制、再使用		市町村		(岡谷市)(下諏訪町) ・不法投棄多発箇所に啓発看板の設置、市報等による啓発 ・頻発箇所では警察と連携して対応  (諏訪市) ・不法投棄多発箇所に啓発看板の設置、市報等による啓発 ・希望する団体・個人への不法投棄等禁止看板・のぼり旗の配布	B B	・今後も継続して啓発活動を行い、不法投棄の防止に努める。 ・看板の設置や防犯カメラの設置、不法投棄の通報があった箇所の見回りや、廃棄者の特定ができなかった投棄物の回収などを行った。様々な場所で不法投棄が行われているため、今後も継続して啓発活動を行っていく。 ・今後も継続して実施する。		
					(諏訪市)各ごみステーションパトロールによる啓発活動	A	今後も継続して実施する。		
湖沼の対策	水草の除去	・ヒシの除去を官民連携で進めるための新たな仕組みづくり  ・水草刈取船によるヒシ除去、試行的な刈取量増加  ・小型水草刈取船によるヒシ除去  ・手作業によるヒシ除去作業		ビジョン推進会議構成員等 (水大気環境課) (諏訪湖環境研究センター) (諏訪地域振興局環境課)和限		(県環境課)・諏訪湖の水草対策WGによる検討 (諏訪湖環境研究C)・ロゼット葉のみを除去する手法を継続して実施し、その効果を検証(8月～9月)、ヒシの消長調査6地点(5月～10月)	C A	引き続き検討する。  ・ロゼット葉除去を継続し、効果を検証 ・試験区内の湖底のシードバンク調査を実施	
				③④		諏訪建設事務所	・510t以上のヒシの刈取りを実施	A	・510t以上のヒシの刈取りを実施
				④		諏訪建設事務所	・小型水草刈取船によるヒシの刈取り	A	・必要に応じて小型水草刈取船によるヒシの刈取りを実施
				④		ビジョン推進会議構成員等 (諏訪地域振興局環境課)	・初島周辺(6/26,27,28)除去量3.5t	C	除去方法等を検討し、今後も継続して実施する。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和7年度の計画 (R7.5.28報告内容)	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績(令和7年度)	進捗状況	今後の方針	
				岡谷市、環境市民会議おこや、諏訪湖漁業協同組合		・岡谷市ヒシ除去作業(7/12) 参加者 94名 除去量 2t ・岡谷子どもエコクラブ除去作業(7/19) 参加者 26名 除去量 1t	B	ヒシの除去による水質浄化だけではなく、活動を通じて諏訪湖の現状を知ってもらいきっかけとなることから、今後も活動を継続していく。	
				諏訪市、諏訪市セーリング協会、和限 ほか	信濃毎日新聞社	・諏訪市ヒシ除去作業(7/5) ※「トヨタソーシャルフェス」として実施 参加者 102人、回収量 1,280kg	A	多くの方に参加いただき好評であったので、次年度も同様に実施したい。	
		・除去したヒシの堆肥化			諏訪建設事務所 諏訪地域振興局環境課 岡谷市 諏訪市 和限		(諏訪建設事務所、県環境課、諏訪市) ・上記で除去したヒシの堆肥化	A A	・引き続き除去したヒシの堆肥化を実施する。 ・堆肥化を継続する。  除去したヒシの活用方法を考えてもらうためにも、有効な手段となることから、今後も配布を継続していく。
							(岡谷市) ・上記で除去したヒシの堆肥化 ・おこやエコフェスタ 2025 来場者へ堆肥を配布した。 ・岡谷子どもエコクラブ参加者へ堆肥を配布した。	B	
		・ヒシの資源化に係る取組			(株)みのり建設		・ヒシ、刈草、枝、牛フン資材を使い堆肥を作った。ヒシが吸収した栄養分などを、堆肥として諏訪地域の土づくりに利用してもらえた。	B	・ヒシ、刈草、剪定枝、牛フン資材を使って堆肥を作り、有機資源を諏訪地域の土づくりに利用してもらう。
					和限		・水草、大豆 米類のふすま粉、竹炭、落ち葉など植生による堆肥づくりによる農地、山地、災害地の再生のため堆肥利用を行っている。		
	・その他の水草の除去				長野県ローイング協会 諏訪市セーリング協会		(長野県ローイング協会) ・ボートコースの水草除去作業 手作業によるボートコースの水草除去作業、水草刈取り船の手配、刈取った水草の処理を実施 (諏訪市セーリング協会) ・ヨットハーバー内の水草除去作業	A	水草は、8月下旬から9月中旬にかけて繁茂している状況であり、「藻」が大量繁茂する状況となり、競技大会が出来ない時もあった。今後、県にも協力を仰ぎ対応していきたい
					・ヒシ、水草の除去	太陽工業株式会社		・社内ボート部による除去作業、啓もう、クリーンウォータープロジェクト、諏訪市環境課ゴミ拾いへの参画	A
	覆砂		・沿岸域の一部において覆砂の試行	③	諏訪建設事務所		・覆砂工 1箇所		
			・覆砂実施箇所におけるシジミの生息状況調査	③	水産試験場諏訪支場		・自然繁殖したシジミの生息調査： 6地点(5月、8月、11月)	A	調査場所・方法等見直し
・浅場造成など水辺整備の推進				諏訪建設事務所		・覆砂工 1箇所	A	・覆砂工 1箇所	
湖沼の対策	漂着ごみ等の除去	・諏訪湖岸に打ち上げられたごみの除去			アダプトプログラム登録団体、岡谷ライオンズクラブ	・諏訪湖アダプトプログラム実施			
				岡谷市、諏訪市、下諏訪町	諏訪湖周3市町住民、衛生自治会連合会、岡谷ライオン	(岡谷市) ・5/25 春の一斉清掃 参加者 1,418人 回収量 278kg ・10/5 秋の一斉清掃 参加者 700人 回収量 150kg	A	諏訪湖畔の景観維持のため、今後も継続して実施していく。	

※1 別様式 令和7年度（2025年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和7年度の計画 (R7.5.28 報告内容)	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績（令和7年度）	進捗 状況	今後の方針		
					ズクラブ等 団体	(諏訪市) ・5/25 春の一斉清掃 参加者 440 人 (ボランティア団体…21 団体) 回収量 149kg ・10/5 秋の一斉清掃 参加者 337 人 (ボランティア団体…16 団体) 回収量 2,221kg (下諏訪町) ・5/18 春の一斉清掃 参加者 200 人 回収量 80kg ・10/5 秋の一斉清掃 参加者 150 人 回収量 30kg	A	今後も継続して実施する。		
						下諏訪町諏訪湖浄化推進 連絡協議会		・下諏訪町内での諏訪湖岸清掃 4月～令和8年2月末時点：計10回(町 行事への参加を含む) 3/15に清掃予定 ・第6回諏訪湖まるまるゴミ調査への協 力	B	今後も継続して実施する。
					諏訪市(都市計画課)	長野県	・諏訪湖水辺Aゾーン漂着物除去 ・年間通してAゾーンの漂着物の除去を 行う。	A	毎年実施予定	
			・湖底に沈んだごみ・浮遊ごみの除去		諏訪市、諏訪市セーリング 協会、諏訪湖カヤック		・9/6 諏訪湖浮遊ごみ除去作業	9/6 実 施 済 み	ヒシ繁茂場所近くには多くのごみ が浮遊しており、今後も同様に実 施していく。	
			・ごみの種類・数量の調査	⑨	下諏訪町諏訪湖浄化推進 連絡協議会		・湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類 と量を記録 4月～11月 計5回	B	今後も継続して実施する。	
		ながの海ご みゼロプロ ジェクト実 行委員会、 上諏訪中学 校3学年			(諏訪市) ・「きれいな海を守ろう～身近な諏訪湖か ら」 上諏訪中学校3学年の「総合の学習」にお いて、諏訪湖のごみ拾いを実施	A	生徒たちの新たな気づきにつなが る取組であり、機会があれば実施 したい。			
				ビジョン推進会議構成員 他		・第6回諏訪湖まるまるゴミ調査 11/1	A	引き続きごみの無い諏訪湖 WG の 取組を継続する。		
流入 河川 等 の 対 策	多自然川づくり	・砥川、新川、鴨池川の整備推進		諏訪建設事務所		・砥川、新川、鴨池川において継続実施	B	新川、鴨池川の河川整備を継続 して実施。		
	自然浄化機能を活かした水質浄 化	・沿岸域の一部において覆砂の試行(再 掲)	③	諏訪建設事務所		・覆砂工 1箇所	A	・覆砂工 1箇所		
	沈澱ピットによる栄養塩類を含 む土砂の除去	・一部土砂掘削し、栄養塩類の分析を実施		諏訪建設事務所		・上川河口にて実施	A	・上川河口にて実施		
	植生水路による栄養塩類の除去	・植生水路のヨシ除去		諏訪建設事務所		・ヨシ除去 1箇所	A	・ヨシ除去 1箇所		
	枯れたヨシ等の除去	・河川愛護活動			アダプトプ ログラム登 録団体					
工 排 場 水 ・ 事 業 場 対 策	排水規制	・排水基準遵守徹底のための立入検査・指 導を実施		諏訪地域振興局環境課 岡谷市		(県環境課) ・事業所等の立入検査を73件実施(令和 8年3月12日時点)(上記以外に、排水基 準が適用されない事業場への立入を別途 9件実施。) (岡谷市) ・グリーストラップ設置の届出があった	B	引き続き立入検査・指導を実施 する。		
							A	引き続き計画的に実施してい		

※1 別様式 令和7年度（2025年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

① 令和7年度（2025年度）構成員等活動実績

水環境保全

進捗状況：令和7年度の計画に対する進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

資料 1-1

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和7年度の計画 (R7.5.28報告内容)	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績(令和7年度)	進捗状況	今後の方針
						事業所へ立入検査を行い、使用状況の確認を行う。		く。
	汚濁負荷量規制	・日平均排水量50m <sup>3</sup> 以上の湖沼特定事業場への立入検査・指導の実施		諏訪地域振興局環境課		・立入検査20件以上	A	引き続き立入検査・指導を実施する。
	下水道接続	・供用区域内の工場・事業場への下水道への接続の促進		市町村 諏訪地域振興局環境課		(県)・浄化槽立入検査時に指導	A	引き続き立入検査時に指導する。
	畜産に係る汚濁負荷対策	・家畜排せつ物及び畜舎の適正管理の指導・啓発 ・竹炭によるメタンガス削減実験		諏訪農業農村支援センター 県畜産試験所(和限協力)		・畜産農家巡回による適正指導の実施(延べ29件) ・実験のための竹炭提供	A	・R8年度も巡回により管理状況を確認
	魚類養殖に係る汚濁負荷対策	・湖沼法指定施設における規制基準の遵守の徹底		諏訪地域振興局環境課		・現在該当施設はないが、施設が設置された場合には啓発・指導等を実施		
流出水対策	市街地対策	・道路路面の清掃		市町村 諏訪建設事務所		【県】・311.4km	B	引き続き実施する。
		・道路側溝、水路等の清掃		市町村 諏訪建設事務所		【県】・131km	B	引き続き実施する。
		・不法投棄やごみのポイ捨て防止のための啓発		市町村		(岡谷市)(下諏訪町) ・不法投棄多発箇所に啓発看板の設置、市報等による啓発(諏訪市) ・ポイ捨て防止のぼり旗及び不法投棄防止看板の設置・支給 ・広報すわ啓発記事掲載	B B B	・今後も継続して啓発活動を行い、不法投棄の防止に努める。 ・看板や防犯カメラの設置が必要と思われる箇所には随時設置を行っているが、様々な場所で不法投棄が行われているため、今後も継続して啓発活動を行っていく。 今後も継続して実施する。
	農地対策	・GAPの実践による持続的な農業生産の実現		諏訪農業農村支援センター		・国際水準GAPの取得推進 0件	E	・GAPの取得を希望する者に対し支援
		・環境にやさしい農業への取組拡大		諏訪農業農村支援センター		・信州の環境にやさしい農産物認証の取組件数 23件	A	・引き続き取り組みを支援
		・みどりの食料システム法に基づく認定を通じた意識啓発		諏訪農業農村支援センター		・緑肥作物の利用を推進(228ha)	A	・引き続き取り組みを支援
		・自然環境の保全に資する農業の生産活動を推進		諏訪農業農村支援センター		・環境保全型農業直接支払制度の取組推進(4市町村)	A	・引き続き取り組みを支援
		・ヒシを原料とした堆肥の活用促進		(株)みのり建設 市町村 諏訪地域振興局(環境課・諏訪農業農村支援センター) 和限	堆肥化事業者	(県環境課) ・諏訪湖流域資源循環普及事業により堆肥化したヒシを普及拡大(和限) ・県内外の個人の農地、ルーラの会などの、農地での水草堆肥、竹炭の利用普及		
	自然地域対策	・間伐を中心とした森林整備・植栽		市町村 諏訪地域振興局林務課 和限		・【県】1.68ha(治山事業)  ・【市町村等】(岡谷市)9.15ha、(下諏訪町)14.83ha、(原村)2.00ha  植林協力(ジブリパーク、加子母水源、東日本大震災)	C A B	・引き続き関係機関と連携し森林整備を推進する ・計画的に森林整備を行う。
		・治山施設の建設		諏訪地域振興局林務課		・5箇所を実施	C	引き続き計画的な治山施設の整備を推進する。
		・砂防施設の建設		諏訪建設事務所		・3溪流(朽久保川、大沢川、竹の沢川、蓮井川)で実施	B	砂防施設の整備を促進する。
		・ゴルフ場などの汚濁負荷流出防止への努力を啓発		諏訪地域振興局環境課		・ゴルフ場排水検査について7施設(諏訪レイクヒルカントリークラブ、諏訪湖カントリークラブ、蓼科高原カントリークラ	A	引き続き指導・啓発を行う

※1 別様式 令和7年度(2025年度)構成員等活動実績 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

① 令和7年度（2025年度）構成員等活動実績

水環境保全

進捗状況：令和7年度の計画に対する進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

資料 1-1

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和7年度の計画 (R7.5.28 報告内容)	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績（令和7年度）	進捗 状況	今後の方針
公共用水域の水質監視	水質の測定	・水質常時監視	⑤	諏訪湖環境研究センター		ブ、鹿島南蓼科ゴルフコース、三井の森蓼科ゴルフ倶楽部、蓼科東急ゴルフコース、フォレストカントリークラブ三井の森)で実施		
		・その他水質検査		諏訪湖クラブ	長野県水質マップネット	・湖内環境基準点3地点及び釜口水門月1回 ・諏訪湖クラブ(諏訪湖・天竜川水系分担)、全国一斉水質調査への参加(10名、30地点)及び長野県水質マップ作製(28団体、285地点)(継続・令和7年度は6月1日に実施) ・ナノバブルを利用した諏訪湖沿岸域環境改善実験(企画作成)継続 ・豊かな湖を取り戻す「5湖連携」推進活動(継続)	A	・継続して実施 令和8年度に冊子「湖沼水環境保全5湖連携」を作成
	水質汚濁事故の対応	・油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導		市町村 諏訪地域振興局(環境課・諏訪農業農村支援センター) 諏訪建設事務所	消防、警察	(岡谷市) ・流出事故が発生し原因者が判明した場合に今後の事故防止のために指導を行う。(下諏訪町)油類の流出事故が発生し、原因者が判明した場合には、今後の事故防止のために指導を行った。 (諏訪市) ・原因者が判明した場合には注意・指導 ・広報すわ啓発記事掲載。	B B B	・今後も継続して指導を行っていく。また、市報でも漏油に関する注意啓発を実施していく ・今後も継続して実施する。 ・今後も継続して実施する。
生物豊かな湖岸域の復元・創出	水生生物の管理	・生物豊かな湖岸域の復元・創出に向けた調査等	④	諏訪建設事務所		・Cゾーンにおける動植物調査	A	・Cゾーンにおける動植物調査完了
		・護岸整備等の事業効果を検証するための事後調査	④	諏訪建設事務所		・Cゾーンにおける動植物調査	A	・Cゾーンにおける動植物調査完了
	豊かな漁場環境の再生	・水産生物が生息しやすい構造物の設置		和限		・竹炭利用による浄化及び植生は行えませんでした。		
		・ヒシの除去を官民連携で進めるための新たな仕組みづくり(再掲)		ビジョン推進会議構成員等 (水大気環境課) (諏訪地域振興局環境課) (諏訪湖環境研究センター) 和限		(県環境課)諏訪湖の水草対策WGによる検討 (諏訪湖環境研究C)・ロゼット葉のみを除去する手法を継続して実施し、その効果を検証(8月～9月)、ヒシの消長調査6地点(5月～10月)	C A	引き続き検討する。 ・ロゼット葉除去を継続し、効果を検証 ・試験区内の湖底のシードバンク調査を実施
		・水草刈取船によるヒシ除去、試行的な刈取量増加(再掲)	③④	諏訪建設事務所		・510t以上のヒシの刈取りを実施	A	・510t以上のヒシの刈取りを実施
		・小型水草刈取船によるヒシ除去(再掲)	③④	諏訪建設事務所		・覆砂工1箇所	A	・覆砂工1箇所
		・手作業によるヒシ除去作業(再掲)	④	ビジョン推進会議構成員等 (諏訪地域振興局環境課)		・ビジョン推進会議ヒシ除去作業(6/26, 27, 28 予定)		
岡谷市、環境市民会議おみや諏訪湖漁業協同組合 和限	岡谷ライオンズクラブ		・岡谷市ヒシ除去作業(7/12) 参加者94名 除去量2t ・岡谷子どもエコクラブ除去作業(7/19) 参加者26名 除去量1t	B	ヒシの除去による水質浄化だけではなく、活動を通じて諏訪湖の現状を知ってもらうきっかけとなることから、今後も活動を継続していく。			
諏訪市、諏訪市セーリング協会、和限 ほか	信濃毎日新聞社	・諏訪市ヒシ除去作業(7/5) 「トヨタソーシャルフェス」として実施 参加者102人、回収量1,280kg	A	7/5 実施済み ・今後も継続して実施する ・ハーバー内の水草の繁茂が例年以上であり、より効率的な方法を検討する必要がある。				

※1 別様式 令和7年度（2025年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

① 令和7年度（2025年度）構成員等活動実績

水環境保全

進捗状況：令和7年度の計画に対する進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

資料 1-1

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和7年度の計画 (R7.5.28 報告内容)	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績（令和7年度）	進捗 状況	今後の方針
		・魚食性鳥類からの食害防除	⑧	諏訪湖漁業協同組合 諏訪農業農村支援センター		・漁船による追払い(年75日)、花火の使用	A	・有効な対策を引き続き検討
		・外来魚の駆除		諏訪湖漁業協同組合 諏訪農業農村支援センター		・周年 ・ブラックバス、ブルーギルの捕獲・駆除	A	・継続実施
貧 酸 素 対 策 の 推 進	底層 DO の類型当てはめ	・底層溶存酸素量の測定地点を設定して 監視・測定	①	諏訪湖環境研究センター		・溶存酸素：湖内連続測定8地点(7月～ 12月)	A	・継続して実施
		・底層溶存酸素量に係る環境基準点及び 達成率・達成期間の検討	①	水大気環境課		・検討に必要な最新の情報の収集及び整理 ・水質予測モデルに係る諸条件の整理	A	令和9年度に環境基準点等を設 予定
	湖岸域の対策	・水草刈取船によるヒシ除去(再掲)	③④	諏訪建設事務所		・510t以上のヒシの刈取りを実施	A	・510t以上のヒシの刈取りを実 施
		・沿岸域の一部において覆砂の試行(再 掲)	③⑨	諏訪建設事務所		・覆砂工1箇所	A	・覆砂工1箇所
	貧酸素に関する調査・研究	・地元大学との連携による溶存酸素測定 ・溶存酸素濃度等連続測定 ・底質環境(沿岸域)の調査研究	①	諏訪湖環境研究センター	信州大学理学 部附属諏訪臨 湖実験所	・溶存酸素：湖内連続測定8地点(7月～ 12月) ・底質環境：底泥酸素消費量調査2地点 (6月)	A	・継続して実施
		・官民協働による諏訪湖貧酸素及び底質 改善効果検証	①	諏訪湖クラブ	公立諏訪東京 理科大学信州 大学理学部附 属諏訪臨湖実 験所 民間企業の 協力	・諏訪湖沿岸域を対象とする実証実験計 画の策定、提案、実施(継続)		
・IoTを活用した水質データのリアル タイム監視			諏訪市 諏訪湖漁業協同組合 諏訪湖環境研究センター	信州大学理学 部附属諏訪臨 湖実験所 Mole's A Ct 他	・湖心1地点、豊田沖1地点(3月～12月)	A	・継続して実施	
盤多 様な 創出 生育 ・生 息基	エゴの再生に向けた調査研究・ エコトーンの復活	・豊かな生態系が保たれているBゾ ーンを中心に動植物のモニタリングの実施	④	諏訪建設事務所		・Cゾーンにおける動植物調査	A	・Cゾーンにおける動植物調査 完了
	湖辺環境保護地区の指定に向け た検討	・現状の把握	③④⑨	水大気環境課		・調査研究等による現状の把握	C	検討を継続
	間伐を中心とした森林整備	・間伐、植栽		市町村 諏訪地域振興局林務課		・【県】1.68ha(治山事業) ・【市町村等】(岡谷市)8.22ha (下諏訪町)14.83ha	C B B	・引き続き関係機関と連携し森 林整備を推進する。 ・R8 8.93ha ・計画的に森林整備を行う。
水生 動植 物の 管理	環境整備	・生物多様性を創出する護岸整備(Cゾ ーン)に向けた調査等	④	諏訪建設事務所		・Cゾーンにおける動植物調査	A	・Cゾーンにおける動植物調査 完了
		・沿岸域の一部において覆砂の試行(再 掲)	③	諏訪建設事務所		・覆砂工1箇所	A	・覆砂工1箇所
		・白鳥飛来地環境整備		諏訪湖白鳥の会		・環境整備：現地工事中のため実績なし		引き続き取り組む
		・アレチウリ等外来植物の駆除(湖周、流 入河川)		市町村		(岡谷市) ・除去事業への補助 ・市報等による啓発 (諏訪市) ・上川アレチウリ駆除作業(6/21) 参加者20人 駆除量60kg ・湖畔オオハンゴンソウ駆除作業(7/23) 参加者11人 駆除量130kg ・広報すわ啓発記事掲載	B B	今後も市民団体等と連携し、継 続した駆除活動を実施する。 地道な駆除作業の継続が必要な ため、今後も継続して実施する。

※1 別様式 令和7年度（2025年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

① 令和7年度（2025年度）構成員等活動実績

**水環境保全**

進捗状況：令和7年度の計画に対する進捗率に応じて、A：完了（100%）・B：順調（80%～）・C：概ね順調（60%～）・D：要改善（40%以下）・E：未実施（0%）を記載

**資料 1-1**

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和7年度の計画 (R7.5.28 報告内容)	調査 研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績（令和7年度）	進捗 状況	今後の方針
モニタリング						(下諏訪町) ・湖岸清掃に合わせて駆除作業を実施 (4/20, 5/18, 6/15, 7/13, 9/21)	B	今後も継続して実施する。
		・水生動植物の生息調査	⑧	環境保全研究所		・抽水植物帯の動植物調査(年5回) ・ドローンによる空撮		
		・指標水生植物(ヒシ)のモニタリング(年1回)	④	水産試験場諏訪支場		・ヒシ及び水生植物の分布 全湖岸水域 (7~8月 年1回)	A	継続 (R7~マツモを追加)
		・指標水生動物(シジミ)のモニタリング調査(再掲)	③	水産試験場諏訪支場		・覆砂場所6地点(5月、8月、11月)	A	調査場所・方法等見直し
		・指標水生動物(メガネサナエ)の保全に向けた啓発	⑫	諏訪地域振興局環境課 諏訪湖環境研究センター		(県環境課) ・メガネサナエ保全WGによる検討、環境イベントで啓発 (諏訪湖環境研究C) ・流入河川の成虫調査(6月~9月、6回) ・諏訪湖岸の羽化殻調査(6月~8月、13回) ・7/29の羽化殻調査に諏訪市内の小学生及び教員が参加(13名) ・諏訪湖環境研究センター等での啓発(717名、2月末現在)	A	・成虫及び羽化殻のモニタリング調査を継続して実施 ・センター見学時や環境イベント出展時等に活用する新たな普及啓発コンテンツ(メガネサナエのフィギュア)を作成
	・白鳥の観察		諏訪湖白鳥の会		・初飛来確認日12月~北帰行確認日2月頃まで			
漁業の振興	環境整備	・生物多様性を創出する護岸整備(Cゾーン)に向けた調査等(再掲)	④	諏訪建設事務所		・Cゾーンにおける動植物調査	A	・Cゾーンにおける動植物調査完了
		・沿岸域の一部において覆砂の試行(再掲)	③⑨	諏訪建設事務所		・覆砂工1箇所	A	・覆砂工1箇所
	環境再生	・漁場環境水質調査	①	水産試験場諏訪支場		・湖心、高浜：月1回	A	継続
		・湖内定置網捕獲によるワカサギ採卵技術開発		水産試験場諏訪支場		・成熟期の湖内定置網によるワカサギ親魚捕獲・採卵(3回)	A	継続
		・ワカサギ生育状況・資源量調査	⑧	水産試験場諏訪支場、諏訪湖漁業協同組合		・月1回(6~11月)	A	継続
		・テナガエビ資源管理手法開発		水産試験場諏訪支場		・捕獲調査 月1回(4月~3月)	A	継続
	・エビ種苗放流		諏訪湖漁業協同組合、水産試験場諏訪支場		・5kg	A	継続	
食害防除・外来種駆除	・魚食性鳥類からの食害防除(再掲)	⑨	諏訪湖漁業協同組合 諏訪農業農村支援センター		・漁船による追払い(年75日)、花火の使用	A	・有効な対策を引き続き検討	

※1 別様式 令和7年度（2025年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組（番号）と関連しています。